

1 医療機関向け調査結果

(1) 調査の概要

ア 調査対象

札幌市乳がん検診実施医療機関のうち、当該事業を希望した30医療機関

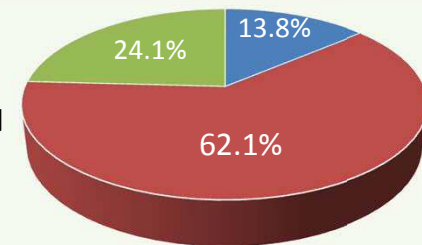
イ 回収数

29機関
回収率：96.7%

ウ 調査基準日

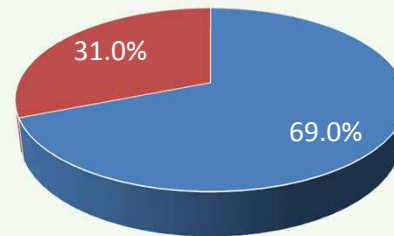
当該事業の開始前

(2) 超音波検査の従事者



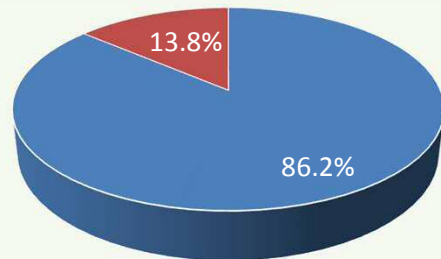
・コメディカルが超音波検査を実施している医療機関は、最も多かった

(3) マンモと超音波検査を併用した場合の方法



・分離併用方式より同時併用方式で医療機関が多かった

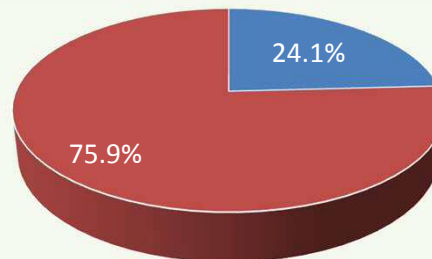
(4) 超音波検査を併用した場合の判定方式



■ 総合判定方式 ■ 独立判定方式

・総合判定方式を採用している医療機関が多かった

(5) 超音波検査を実施する場合、同意書の取得状況



■ 取得している ■ 取得していない

・同意書を取得していない医療機関が多かった

(6) 超音波検査の従事者数

	医師	コメディカル
従事者数	39人	123人
うち6年以上の経験者	32人(82.1%)	101人(82.1%)

(7) 以下ア～イの要件を満たす医師及びコメディカル数

ア 日本乳がん検診精度管理中央機構等が主催した超音波講習会を受講した専門職
〔医師 27人・コメディカル 46人〕
イ アの講習会を受講した方のうち、評価B以上と認定された専門職
〔医師 19人(48.7%)・コメディカル 40人(32.5%)〕

3 まとめ

- 同時併用方式の実施割合は約7割、総合判定方式の実施割合は約9割であった
- 超音波検査を実施する場合、今後も同意書を取得する必要がある
- 超音波検査の臨床経験が6年以上の従事者は8割を超えていた
- 超音波検査のニーズが高い結果であった
- 自己負担の軽減や予約が取りやすいなどががん検診を受けやすい環境が求められる

2 受診者向け調査結果

(1) 調査の概要

ア 調査対象

札幌市乳がん検診を受診した40歳代女性のうち、受診希望者

イ 調査期間

平成31年1月21日(月)～3月31日(日)

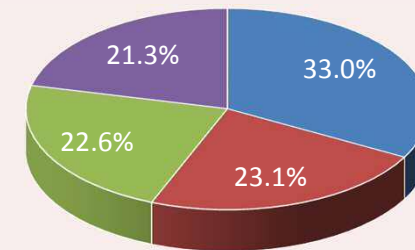
ウ 調査方法

アンケートに回答することで、超音波検査を無料で受けられる

エ 回収数(受診者数)

376票(調査期間内にマンモを受けた方は474人：割合79.3%)

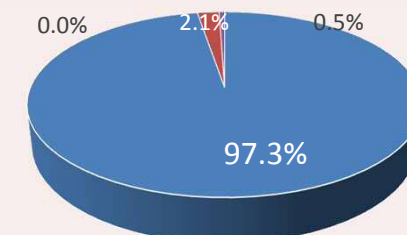
(2) 乳がん検診の受診頻度



■ 今回が初めて ■ 原則2年に1回 ■ 不定期 ■ その他

➢ 国が推奨している「2年に1回」受診している方は約2割であった。

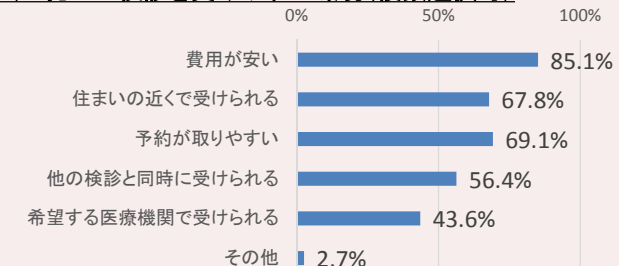
(3) 札幌市が乳がん検診に超音波検査を追加した場合、受けたいか



■ 受けたい ■ どちらともいえない ■ 受けたくない ■ 無回答

➢ 大多数の方が、超音波検査を受けたいと回答した

(4) 乳がん検診を受けやすい環境(複数選択可)



➢ 「費用が安い」、「予約が取りやすい」という項目が上位であった。